

## 56回総会アンケート

学会総会参加者を対象に、当日アンケート用紙を配布して回収  
オンデマンド配信終了（5月末）までWEBでの回答を集めた。

会員回答：49名      非会員回答：23名      計72名

問2 これまでの総会参加の回数をお答えください

	会員	非会員
11回以上	44.9 %	0.0 %
4～10回	30.6 %	8.7 %
2～3回	10.2 %	26.1 %
初めて	14.3 %	65.2 %

(参加3回を超えれば会員になってもらえる?)

### 問3 特にどの内容が良かったと思われましたか？

	会員	非会員
会長講演	2.0 %	0.0 %
特別講演	51.0 %	34.8 %
教育講演	36.7 %	30.4 %
シンポジウム	53.1 %	34.8 %
一般口演	18.4 %	26.1 %
ポスター発表	10.2 %	17.4 %
ランチョンセミナー	18.4 %	91.3 %

(花より団子？内容が良かったのかもしれませんが…)

## 55回アンケート

### 問3 特にどの内容が良かったと思われましたか？

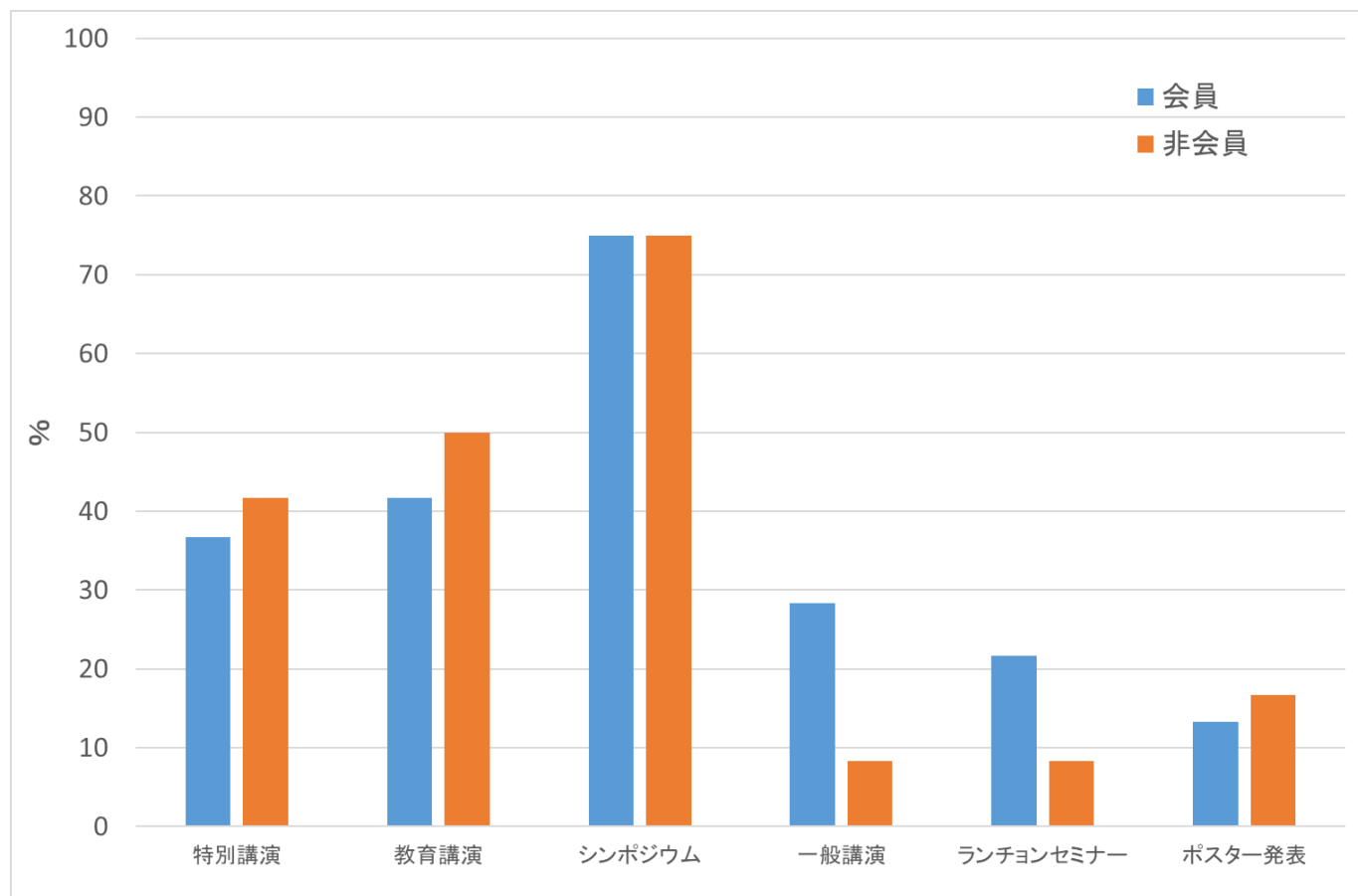
- 特別講演 『マルチリートメント（避けたい子育て）が脳に与える影響と回復へのアプローチ』
- 教育講演 『臨床研究を紐解く統計学 ～臨床検査の基準値と臨床診断値の求め方～』
- シンポジウム
- 一般講演
- ランチョンセミナー
- ポスター発表

#### 会員（60名回答）

22名（37%）  
25名（42%）  
45名（75%）  
17名（28%）  
13名（22%）  
9名（13%）

#### 非会員（12名回答）

5名（42%）  
6名（50%）  
9名（75%）  
1名（8%）  
1名（8%）  
2名（17%）



オンデマンドならば、**シンポジウム**  
教育講演、特別講演を対象にすれば良い。

問4 今後も継続して学術集会に参加したいと思われませんか？

	会員	非会員
学会員として参加したい	95.9 %	4.3 % (1名 管理栄養士 60代女性 初めて)
非学会員として参加したい	2.0 %	69.6 %
参加継続が難しい	2.0 % (1名)	26.1 % (6名)

問5 どのような学会形式を希望しますか？

	会員	非会員
どれでも良い	14.3 %	4.3 %
オンサイト	28.6 %	13.0 %
オンライン	2.0 %	8.7 %
ハイブリッド	55.1 %	60.9 %

問6 どのような理由で継続が難しいですか？

⇒ その解決策として、有効だと思う取組みがあれば、チェックを入れて下さい

(57回に参加継続が難しい会員)

参加費や出張旅費の支出が難しい。関連研究の継続が難しい

⇒ (未記載) (研究者 50代女性 3回以下)

(57回に参加したい会員)

勤務体制などの理由で、職場を離れられない。育児や介護のため、自宅を離れられない

⇒ 開催日時を平日ではなく休日にする, 中学生も入れたら良い (医師 50代女性 3回以下)

問6 どのような理由で継続が難しいですか？

⇒ その解決策として、有効だと思ふ取組みがあれば、チェックを入れて下さい

(57回に参加継続が難しい非会員)

育児や介護のため、自宅を離れられない

⇒ オンラインを活用する (管理栄養士 40代女性 初めて)

勤務体制などの理由で、職場を離れられない, 参加費や出張旅費の支出が難しい

⇒ 開催日時を平日ではなく休日にする, オンラインを活用する (薬剤師 40代男性 初めて)

参加費や出張旅費の支出が難しい

⇒ 学会から参加費や出張旅費の補助を行う (管理栄養士 30代女性 初めて)

参加費や出張旅費の支出が難しい

⇒ オンラインを活用する (研究者 50代女性 初めて) (薬剤師 20代男性 初めて)

(57回に参加したい非会員)

参加費や出張旅費の支出が難しい

⇒ オンラインを活用する (管理栄養士 50代女性 3回以下)

参加費や出張旅費の支出が難しい

⇒ 開催日時を平日ではなく休日にする (薬剤師 30代男性 初めて)

(非会員の30.4%が「オンラインの活用」を回答⇒オンサイトでなくハイブリッド開催が望ましい)

(「参加費や出張旅費の支出が難しい」が理由として多い⇒前回参加で参加費減額?)

< 学術集会で聴講したい企画や学会への要望等 (会員)

- 基礎研究と臨床研究の橋渡しについて (医師 50代男性)
- 核酸医薬、寿命とプリン代謝 (研究者 40代男性)
- inflammasomeに関する海外の研究者による講演 (医師 50代男性)
- 尿酸値が正常で発症した痛風患者の尿酸値コントロールはどのようにすればよいか (医師 60代男性)
- ハンズオンエコー結晶のみかた (医師 60代女性)
- 中高生向けセミナー (医師 50代女性)
- 今回同様に若手の活性化、多職種のご参加が重要かと感じました (医師 60代男性)
- 外国人の講演をオンラインで聞きたい (医師 60代男性)
- 食事療法・運動療法に関連する展示や実演もあると面白いかも (医師 50代男性)
- 一般市民や患者の声を聴く企画やアンケート 海外での状況を知る企画 関連する他学会を招いたシンポジウム 学会と製薬会社が共同で行う臨床研究 (医師 50代男性)
- 高尿酸血症と尿pHの関係 (医師 60代男性)

< 学術集会で聴講したい企画や学会への要望等（非会員） >

- 若手向けのセミナーなど（会社員 40代男性）
- 会場の温度設定を低くしすぎないで欲しい（2日目）（管理栄養士 40代女性）
- 海外研究者の発表（オンラインでもよいので）（研究者 40代男性）
- 勉強になりました。ありがとうございました（管理栄養士 50代女性）
- 一つの部屋で長く座るため、やわらかい椅子の会場を希望します（会社員 30代女性）
- 血中尿酸と尿中尿酸との比較、相関性に関する企画 要望：椅子がかたくて長時間の聴講でおしりが痛くなった（研究者 50代男性）

<シンポジウム『多職種でサポートする痛風・高尿酸血症の治療』の感想（会員）>

- 良い試みと思います・良かった（医師 50代男性）（医師 60代男性）（医師 50代女性）
- 非常に有意義でした。多くの職種が違った観点から患者さんを治療・ケアしていくことは必須だと考えます（医師 50代男性）
- 有意義でありました。これからもあった方がよいです（医師 60代女性）
- 栄養士や理学療法士の方々の講演をさらに聞きたい（医師 50代男性）
- 勉強になりました（医師 50代男性）
- 疾病や病態に関する研究のみならず、生活習慣病としての痛風・高尿酸血症をケアする様々な職種やその活動内容について理解することは有用でした（会社員 50代男性）
- 多職種連携実践例の蓄積。新規実践病院、クリニックの開拓（研究者 50代男性）
- 今後も発展させていくべきところと思います（医師 60代男性）
- コメディカルの方々の今後の学会参加を促すことに繋がったのではないかと考えるので、良い企画であった（医師 60代男性）
- 多種職介入に関してのセッションは大変重要と思います（医師 60代男性）
- もっとうまく話せるよう精進します（医師 50代男性）
- 痛風・高尿酸血症に対する医療スタッフの関心が当院では薄いので人を確保できない（医師 70代男性）
- **企画は良かったが内容が少し期待はずれだった**（研究者 60代男性）
- 尿酸コントロールを維持するためには患者のアドヒアランスが最重要と考えます。しかし生活習慣を是正するには医師のみでは困難なので、多職種サポートの試みは積極的に行うべきで、シンポジウムは役立ちました（医師 60代男性）
- コメディカルの発表を増やしていきたい（理学療法士 20代女性）

<シンポジウム『多職種でサポートする痛風・高尿酸血症の治療』の感想（非会員）>

- シンポジストのクロストークがあってもよかったかなと思います（管理栄養士 40代女性）
- とても良いと思いました（管理栄養士 50代女性）
- 痛風は腎障害との関係が主だとしても、多様な要因の元、悪化などにつながるため、とても新鮮で、有意義な講義と感じました（会社員 30代女性）
- 尿酸が色々な疫病の合併症を引き起こしていることを改めて、詳しく学びました（薬剤師 40代男性）
- 幅広い知見が得られてよいと思います（研究者 50代男性）